

第3章  
家庭での  
取り組み

# ごみ減量大作戦!!

減量とリサイクルは、一人ひとりの意識と協力が  
必要です

## 一人ひとりがごみ減量を

ごみ減量の対策については、いろいろ行われていますが、その中でも自分たちの一番身近である家庭でできることをもう一度見直してみましよう。

ちょっと考えてみて!

その「ごみ」資源ではありませんか。皆さんから資源として出していたただいたトレイや、ペットボトルなども再度分別をしなければリサイクルできないのが現状です。中には飲み残しや食べ残しが入ったまま収集容器に入れたものもあります。このような状態では、収集した後で大量の資源ごみの中から、汚れていて資源にならないものを再度抜き出すには多くの人手が必要で

これらは、普段のちょっとした心掛けにより減らすことができます。

「ごみを減らさなければ」「リサイクル(再利用)できるものはたくさんあるはず」と多くの人が考えて、日常生活を送っていると思います。しかし、なかなかごみの量は減りません。

これまでの大量生産、大量消費、大量破棄という社会システムに別れを告げ、大切な資源を上手に使い、環境への負担を減らす「循環型社会」に向けて私たちにできることから始めましょう。

ごみを減らすポイント「3R」を実行することがごみの減量につながり、これからの循環型社会に向けて私たちができる第1歩となります。

あなたも1日100gのごみ減量にチャレンジしてみてください!一人ひとりの小さな努力が大きな成果につながります。

## スリーアール ごみを減らす3つのポイント「3R」

**Reduce** リデュース



物を大切に使う。ごみを減らそう。

「リデュース」は、ごみを出さない生活を心掛けること。無駄なものは買わない、もらわない。物を大切に使用し長持ちさせる。

例えば…

- 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない。
- 過剰な包装は断り、簡易包装にしてもらう。
- シャンプーやリンスなどは、使い捨てでなく詰め替えのできる商品を選ぶ。
- 生ごみは、出す前によく水切りをする。生ごみ処理機やコンポスト容器でたい肥化する。

**Reuse** リユース



繰り返し使おう。

「リユース」は、いらなくなったものをごみとして出すのではなく、洗ったり直したりして繰り返し使うこと。

例えば…

- ビール・酒などは、びんで買って、販売店へ返却する。
- なくなった家具や電化製品などはリサイクルショップなどを活用する。
- 着られなくなった衣類を必要な人にあげたり、フリーマーケットで販売したりする。

**Recycle** リサイクル



再び資源として利用しよう。

「リサイクル」は、ごみ分別をきちんと行い、資源となるものを資源物収集へ回して再利用すること。

例えば…

- 資源物をごみと分別し、町の資源物収集や地域の集団回収に回す。
- ※特に、メモ用紙や紙箱などは、まだ資源物として十分に分別されていない。各家庭や職場に紙分別用の紙袋を用意して、そこにためるなど、分別を徹底する。
- 牛乳パック・白色トレイ、役場や各地区の収集所の回収ボックスかスーパーなどの店頭回収に出す。
- グリーンマークやエコマークの付いている製品を選ぶ。